

予習（第7回:10月28日分） 資料を参考にして、確認しましょう。

1. 2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）は、「誰ひとり取り残さない」を理念としています。教育分野のターゲット達成に向けた取組の進捗状況をとりまとめた年次評価2020が、6月に発表されました。これによると、学校に通っていない子どもについて、「サハラ以南アフリカ」が、最も多い地域と報告されています。その数と比率（何人に一人）を確認しましょう。

【資料】グローバルエデュケーションモニタリングレポート概要（日本語版）26ページ

https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000373721_jpn

2. 日本に暮らす外国人の子どもについて、文部科学省は2019年に初めて就学状況を把握しました。その結果から、学校に通っていない（就学以外）子どもの数と比率（何人に一人）を確認しましょう。

【資料】文部科学省「外国人の子供の就学状況等調査結果（確定値）概要」2ページ

https://www.mext.go.jp/content/20200326-mxt_kyousei01-000006114_01.pdf

3. 国語や社会などを学習するための「教科学習言語能力」について、学年相当レベルに達するためには何年くらい必要か、確認しましょう。

【資料】文部科学省「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」4ページ

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/05/24/1405244_1.pdf